

eスポーツ 魅力発信！ eスポーツ協会HeSO×如水館高校eスポーツ部



▲練習試合をする部員の高橋 宗太郎さん(右)と小島さん

「eスポーツの魅力はチームで戦えること」と語るのは如水館高校2年の吉野匠さん(17)。昨年10月、市内で初めて結成した同校の「eスポーツ部」は、市中心部にあるビルの1室を部室とし、7人の部員が対戦型コンピュータゲームに挑んでいます。

eスポーツはエレクトロニック・スポーツの略で、電子競技とも訳されます。コンピュータゲームをスポーツとしてとらえ、最近では欧米やアジア各国などで競技人口が増え、オリンピックの正式種目として取り上げられるかが議論されるほどになっています。如水館高校の部活動を支援しているのは、「eスポーツ協会HeSO」を主宰する、市内在住の会社役員・泉太貴さん(35)と小島祐輝さん(35)。2人は、県立広島大学と連携して、1年前からeスポーツの研究を行い、体験型イベントの企画・運営を行うなどしてきました。「eスポーツに最も関心のある若い層から始めることが、一般への広がりにつながるのでは」と考え、如水館高校の部設立を後押し。部室やパソコンなどの資機材を無償で貸し出し、ゲームの指導をしています。一方で、部員たちの生活がゲームに過度に依存しないよう、ゲームとの正しい付き合い方も教えているそうです。

2人は「まちづくり」にeスポーツの可能性を生かしたい。「誰もが好きな事にチャレンジでき



▲令和元年に千葉県で行われたプロの国際大会の様子(写真提供:日本eスポーツ連合)

るまちにしたい」と夢を語ります。部員たちからは「他のスポーツではうまく取れなかったチームワークが取れ、自分の長所を見い出せた」「自分から仲間話し掛けることが出来るようになり、自信がついた」など、喜びの声があふきました。部長で2年の畠山陽翔さん(17)は「自分たちが頑張ることでeスポーツに興味を持つ人を増やすことができればいい。ぜひ一度やってみてほしい」と呼び掛けています。

※「ゲーム依存症について知りたい」「eスポーツ部を立ち上げたい」「場所や機材を提供したい」など・問い合わせは泉さん(携帯080・1902・8335)へ。

※この企画は、東京五輪に向けてスポーツに対する関心を高めていこうというものです。

三原市の人口 (2月28日現在)	
※外国人住民を含む。	
※()内は前年同月との比較。	
世帯数	43,580 世帯 (-127)
人口	91,759 人 (-1,229)
男	44,118 人 (-621)
女	47,641 人 (-608)
人口移動の詳細については 広島県 人口移動 月報 で検索	

税などの納期 (普通徴収)	
○固定資産税・都市計画税 (第1期)	
納期限	30日(金)まで
夜間収納・証明書交付業務の窓口(19時まで)	
29日を除く毎週木曜日	
航空機の騒音測定結果(2月分)(Lden)	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=45.2
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=48.0

三原市公式LINEの中身を紹介①

「総合メニュー」をタップしてみよう

※LINEアプリで「三原市」の友だち登録と情報登録(受信設定)が必要です。

市民課窓口の混雑状況を発信中!

「家庭ごみの分別ガイド」と「かんきょうカレンダー」が確認できます

問 広報戦略課 (☎0848・67・6007)

三原市公式LINEの友だち登録

あ・と・が・き
世界中で注目され、競技人口1億人、観戦人口4億人ともいわれるeスポーツ。「まちの主人公」のコーナーでは、そんなeスポーツについて紹介しています▼協会の方々には仕事の傍ら「まちのために」「子どもたちのために」と意欲的に活動していました▼これまで私は取材を通じて多くの皆さんと会い、話を聞いてきました。毎回感じるの「まちへの熱い思い」。その熱量が伝わるよう、私もカメラとペンで頑張ります(Y)